

◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

●向日市役所(〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野20) ●編集 秘書広報課 ●電話 075(931)1111 ●http://www.city.muko.kyoto.jp/



新名所「竹の径」完成

向日市特産の「孟宗竹」を使った「竹の径(みち)」がこのほど完成しました。春のやわらかなひざしに映える竹林の中に巡らせた竹垣は、向日市の新名所として、散策に訪れた人々の注目を集めています。春の一日、家族や友人と楽しんでください。

このほど完成した「竹の径」は、ジョギングやウォーキングのコースとして親しまれている、第6向陽小学校から竹林公園に通じる西ノ岡竹林道(幅約4m)の両側約250mに、地元特産の孟宗竹を使った竹垣を設置したものです。

竹垣には、竹の枝を高さ1.5メートル程で束ねて並べていく「竹穂垣」の手法を使うものと、竹の径の西側にある寺戸大塚古墳をデザイン化したオリジナルの「古墳垣」を設置しました。

「古墳垣」は、高さ1.5メートル幅2メートルで、竹垣の上部は古墳の後円部を表すように竹を丸く曲げ、四つ目に組み合わせた竹の間隙から古墳が見える工夫が施されたもので、古墳の周囲約50メートルに設置しています。

■お問い合わせ 産業振興課(内線239)まで。

美しい竹林と古墳などの歴史が楽しめる「竹の径」が関係者のご協力を得て整備され、大変嬉しく思っています。



「竹の径」を
向日市長
岡崎 誠之

この道は、市民の皆様がウォーキングや散策を楽しんでいただけの健康づくりの場として、又、全国から足を運んでいただける向日市の新名所として整備したものです。

将来的には京都市の竹林公園まで竹垣を巡らせていきたいと考えています。

memo 寺戸大塚古墳

- 所在地 寺戸町芝山
- 墳形 前方後円墳 前方部と後円部に竪穴式石室

古墳時代初め(4世紀前半)の前方後円墳で、中国製三角縁神獣鏡(さんかくぶちしんじゅうきょう)などの副葬品をもつことで、全国的に有名な古墳です。



竹の径から見る後円部
※竹やぶには入らないでください



春を観る

物集女車塚古墳一般公開

物集女車塚古墳の春の一般公開が始まります。物集女町南条にある車塚古墳は、全長約45m、後円部直径30m、高さ8mの6世紀中頃に作られた前方後円墳です。普段は非公開の石室をこの機会に探索してください。

物集女車塚古墳は、昭和58年度から数々の文化財調査が行われました。平成4年から7年にかけての古墳調査・整備では、金銅製冠の断片や馬具、鉄製の武器などの貴重な副葬品が発見されました。

また、春の一般公開に合わせて、その一部を文化資料館で展示しています。

車塚古墳の一般公開の申込は、次のとおりです。

- 一般公開日時
5月18日(金)～23日(水) 午前10時～午後4時
- 申込 5月8日(火)～17日(木)に電話で文化資料館へ申込んでください。☎931-1182



古墳の内部

竹の径、物集女車塚古墳位置図

